

(様式3)

事業所名 グループホーム もりの郷

作成日 平成 27 年 2 月 19 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	事業所で計画の中の前田駅前自治会館等における「認知症サポーター養成講座」の開催等により、地域の一員として、地域とのつながりをさらに深める必要がある。	地域住民の防災意識が高まっているのを踏まえて、近隣自治会館での「認知症サポーター養成講座」の開催から災害想定での「炊き出し訓練」に変更し実施する。	実際の災害時の条件で実施する。訓練は地域の方々の協力を得て合同で実施し、相互援助への理解を深め、施設としての役割を果たしながら地域貢献を行っていく。「認知症サポーター養成講座」については要望に応じて随時行っていく。	12 ヶ月
2	26	職員のサービス計画書作成スキルアップを図り、本人、家族だけでなく、主治医や利用者の友人など幅広い関係者の意見を取り入れたサービス計画書作成を検討していく必要がある。	サービス計画書作成のスキルアップを図る。主治医からの意見をサービス計画に反映させる。	ひもときシート及びセンター方式を利用しながらサービス計画書作成のスキルアップを図る。定期受診の際に介護計画への意見を聞きながら反映させていく。	12 ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。